

# Green Spirits



のことはやろう  
と、夏休みの学習  
合宿、冬の模擬試  
験、春休みの集中  
講座、1次・2次  
試験直前対策講  
試

人間学部で  
は、平成20年に  
保育学科から児  
童発達学科に変  
わり、保育士資  
格、幼稚園教諭  
一種に加え、小  
学校教諭一種免  
許が取得可能に  
なりました。  
今年、その第  
1期生が初の小  
学校教員採用試  
験に挑戦しました。9名が  
最終的に4名の学生  
が2次試験に合格し  
ました(東京3名、  
石川1名、その他1  
名が発表待ち)。ま  
た心理学科の学生1  
名が私立高校に社会  
科教諭として採用さ  
れることが内定して  
います。

私は本学に赴任し  
て3年目、教職課程  
センター長を仰せつ  
かってから2年目  
で、野球にたとえれ  
ば試合半ばで交替し  
たヒッチャーのよう  
なもの。すべてが始  
めてのことで試行錯  
誤の連続でした。そ  
のため学生諸君には  
必ずしも十分な教育  
環境を提供できな  
かったと反省してい  
ます。それでも教職  
課程センターの先生  
方には、時間を惜しまずご  
協力いただき、やれるだけ  
のことはやろう  
と、夏休みの学習  
合宿、冬の模擬試  
験、春休みの集中  
講座、1次・2次  
試験直前対策講  
試

## 常に学び続ける教師であれ 木村 浩則 ふじみ野教職課程センター長

採用側も実践力や即戦力を  
求める傾向が強くなってい  
ます。今後は筆記試験に焦  
点化した受験対策から、2  
次試験を意識した、現場  
に出て役に立つ受験対策  
へとシフトしていく必要  
を感じています。

最後に、今年めでたく  
教員採用試験に合格した  
諸君、そして臨任教員等  
をしながら来年度再チャ  
レンジをめざす諸君に一  
言。採用試験合格は夢の  
第一歩にすぎません。こ  
れから長い職業生活が  
待っています。おそらく  
この4年間に急ぎ足で学  
んできた事柄より、これ  
から学校現場の中で身に  
つけていく知識やスキル  
の方がはるかに多いはず  
です。現代社会では、求  
められる知識や技能もめ  
まぐるしく変化します。  
つねに学び続ける教師で  
あってほしいと思いま  
す。そしてもう一つ。い  
まや学校現場の厳しさは  
周知のところ。そんな中  
でも、人間的な輝きを失  
わない教師であってほしい  
と思います。